



黎明

同窓会だより れいめい
山形県立鶴岡中央高等学校

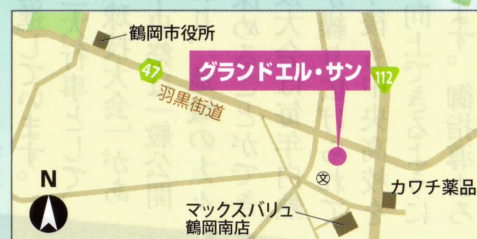
第 19 号

発行
山形県立鶴岡中央高等学校
黎明同窓会
鶴岡市大宝寺字日本国410
0235 (25) 5724

印刷
(有) 杉葉堂印刷
0235 (22) 5538

鶴岡中央高等学校 黎明同窓会総会のご案内

期 日：2016年8月28日(日) 午後2時
会 場：グランドエル・サン
会 費：懇親会参加 **4,000円**
当日年会費 **2,000円** も宜しくお願ひします
申し込み：(8月15日まで同窓会事務局へ)
ハガキ または FAX (0235-25-5733)
〒997-0017 鶴岡市大宝寺字日本国 410
鶴岡中央高校内同窓会事務局 宛 TEL.0235-25-5723



～ 総会当番は [鶴西・鶴家政]平成9年3月卒 [中央]平成18年3月卒の皆さんです～



今輝ける大志を求めて 立志・気づき・共生 鶴岡中央高等学校

会員の皆様ご健勝にてお過ごしのことと存じます。会員を繋ぐ会報第十九号を発行することが出来ました。忙しい中、寄稿にご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

昨今は暖冬の影響で厳しい鶴岡の冬も雪が少なく過ぎやすくなりました。反面、様々な所でこの状況が影響しているのではと危惧しております。また、熊本地震で被災された熊本在住の卒業生、熊本県民皆様に御見舞い申し上げますと共に、支援活動に積極的に協力し、一日も早い復興を願うばかりです。

さて、今年三月に新たに二七五名が同窓会の仲間入り。そして四月には二八〇名の新入生が中央高校生として入学しました。黎明同窓会の会員は着実に増え、中央高校卒者が五五〇〇名以上となっております。

同窓会の役割は、会員への情報提供をメインに相互間の共有を図ることです。そのための会報発行や総会ですが、運営にはお金がかかります。昨年の総会で会費値上げの提案が承認され、今年度より二千元とさせて頂きました。運営は会費で賄っているため、皆様の会費納入への協力をお願い致します。

もう一つの役割は、母校の発展のため後援会活動に参加して、部活動や学科毎の課題研究学習などへの支援です。同窓会の力は微力ですが、出来る範囲で協力を惜まず支援して行くことです。

学校の状況については、会報にも掲載しておりますし、中央高校ホームページでも閲覧できますので、頑張っている生徒たちの近況を見ていただければ幸いです。

最後に、本校の益々の発展と会員皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。



会長の挨拶

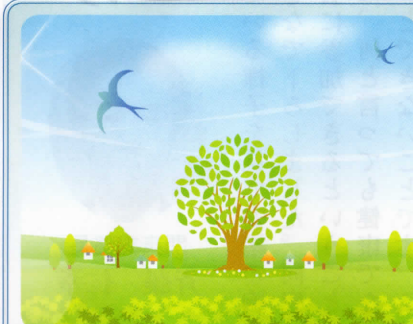
富樫 洋子



編集後記

4月14日午後9時26分頃熊本県で震度7の地震がありました。その後にも余震が何度となくあり、皆様不安な日々を過ごされた事と思います。心からお見舞い申し上げます。私事ですが、車庫にツバメの巣が4つ程あります。今年も4月の初めに2羽のツバメがやって来ました。その後子ツバメが4羽生まれ6月初めに巣立って行き、同じ親ツバメか解からないけど別の巣に子づくり始めたようです。

お忙しい中、ご寄稿いただきました皆様に心より、感謝申し上げます。
松浦・記



「立志・気づき・共生」



校長 伊藤 吉樹

今年「めざす生徒像」として「立志・気づき・共生」の学校スローガンについて「立志とは、明確な夢や目標を持ち、実現のための計画を立て、目標実現に向けて着実に実行する生徒」「気づきとは、広い視野と洞察力を持ち、相手の立場になって考えることのできる生徒」「共生とは、学校とふるさとを愛し、地域のために活動することができると定義づけました。」

さらに、【教育目標】は、本校創立前の鶴岡新高校教育計画書に教育目標として掲げられている「一 自ら思考し、創造し、自学自律の態度を身につけた人間を育成する」「二 広い視野と洞察力を持ち、豊かな人間性と果敢な実行力を備えた人間を育成する」「三 自他

を敬愛する精神を培い、地域や社会に奉仕し、貢献できる人間を育成する」という建学の精神に立ち返り全面的に改めました。

先日のPTA総会には、三百名以上の保護者の参加を得て、最近にない程の賑わいがありました。隣接する慶応義塾大学先端生命科学研究所の南側には世界中の研究者が鶴岡に来ることを想定したサイエンスパークの建設が形となってきました。鶴岡中央高校に対する注目や期待度は、確実に上昇しています。同窓生や地域・保護者の皆様との連携協力を大切にしなが、教育活動を進めていくことがこれまで以上に必要です。同窓生の皆様には、ご支援の程よろしくお願いいたします。

今も健在! チーム日誌!!



池田 律子 先生

昨年度同窓会のお誘いを頂き、家政校で担任した生徒の卒業二十年目の同窓会だと菅原智先生(現在も職場も一緒です!)から聞きました。担任団で出席できたら楽しいだろうな!と思いつき(残念ながら全員参加には至りませんでした)先生方と連絡を取りました。

当時の私は銀行員から教員になって三年目。初担任で経験もなく不安で一杯でした。そんな中、日誌先生を学年主任としたチーム日誌は心強かった。先生方一人ひとりを尊重しまとめてくれた大きい存在の日誌主任。知識や趣味が豊富な進先生。普段は冷静沈着なのに飲むと陽気で楽しい梅津先生。お兄ちゃん的存在で優しくあったかい智先生。年下にもかかわらず公私共に支え相談のつてくれた頼もしい理子先生。チーム日誌は私の教員の原点であり、今でもかけがえない宝物です。

先生が仲良く楽しく仕事をすると生徒も充実した学校生活を送れるはず!と若かった私は信じていました。そしてその通り、生徒の皆さんは女性のしなやかさと逞しさを発揮し、様々な行事、場面に応じて想像以上の力でこなし驚かせてくれました。初めて担任した生徒は一生思い出に残ると聞きますが本場に印象深いクラス、学年です。

同窓会でお会いし、生徒の皆さん一人ひとりが社会の中で自分の役割を果たし、力強く輝いて生きていることを実感しうれしく思いました。そして同窓会をきっかけに担任団の先生方のお元気な様子を伺う機会が持てたことに感謝します。

教師としての原点の地



佐藤 要徳 先生

昨年、同窓会総会・懇親会にお招きをいただき、ありがたく参加させていただきました。

担任をした生徒たちが当番学年のときは、極力参加させていただき、生徒たちと会えるのを楽しみにして月山越えをしてきました。話していると高校生に戻るような感じがします。また、参加出来なかった生徒で二次会に駆けつけてくれる生徒もおり教師冥利に尽きるひと時でした。

西高には、常勤講師で一年、そして新採で昭和五十九年から平成十年までお世話になりました。良い先輩の先生方と生徒達に恵まれ、私の教師としての原点であり、基盤が養われたと考えています。非力な教師ゆえ何も与えてやることはできませんでしたが、共に成長してきた時間であったと思います。

思いでの一つに体育祭があります。縦割りの組で「騎馬戦」や「棒倒し」「応援合戦」を行ったことが思い出されます。とくに「応援合戦」は、各組が大山公園などを利用して当日まで他の組から見られないように練習し、女子は手縫いのコスチュームをつくり、創意工夫し競い合ったあのパワーと団結力は、今の生徒には感じられないものがあったように思います。

終わりに、鶴岡中央高校そして同窓会の益々の弥栄(いやさか)を祈念致します。

総会に参加して

青春の玉手箱



平成17年 中央高卒
三浦 瑛子

今回、縁あって同窓会幹事を引き受けることとなり役目を果たせるか不安でしたが、役員・事務局の方々が、各高校各クラス幹事の総力結集の下、名司会の活躍もあり無事に終えることができました。

三十歳を目前にした今、結婚や出産・育児、そして働き盛りであることから同級生の参加は少数でしたが、かつて同じ時間・同じ場所で学んだ仲間と再会し、懐かしく楽しい時間を過ごすことができ、とても良い機会になりました。

また、会の終盤で行われた校歌斉唱では、サビさえ曖昧だった記憶が伴奏の始

まりと同時によみがえり、在学中の出来事も色鮮やかに思い出されました。日々積み重なる記憶の中で、久々に開けた青春の箱はやはり甘酸っぱかったです。そんな風に過去を振り返るきっかけをくれたこの会に携われたこと、そして参加してくれた方々に感謝いたします。ありがとうございました。



同窓会を終えて



平成8年 西高卒
粕谷 直人

平成八年度に鶴岡西高校を卒業して早いもので十九年経ちました。

この度、黎明同窓会、総会の幹事を務めさせていただきました。卒業以来、連絡を取っていない友人の声が届いたり返事が来た時には嬉しく、出席された人達には感謝しております。参加できなかった方々からもハガキにメッセージを頂き有難かったです。

懇親会では、高校生以来に顔を合わせた先生方や友人に会うことが出来、懐かしく高校時代を思い出しました。同級生とも、なかなか地元に住んでいても顔を合わせず、会う機会がありませんでしたが、これを機に次に繋がればと思います。

最後に総会に関わり、同窓会各クラスの幹事をサポートしてくださった事務局の方々の皆様に感謝します。

黎明同窓会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

つみかさねて



平成7年 家政高卒
斎藤 初美

あれから二十年。鶴岡家政高校を卒業してあつという間の現在。〇才から十八才十八才よりは今のほうがものすごく早く時間が過ぎたような気がします。

自分ばかりが大変ではないという事にも気付かされました。今は私の卒業した家政高校の他に多くの高校が統合されていますが、皆が協力しながら黎明同窓会ならびに、卒業生一同、今後のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。今回、このような会を開催していただきありがとうございます。ありがとうございました。

山形県立鶴岡中央高等学校 黎明同窓会 懇親会



卒業生の思い出

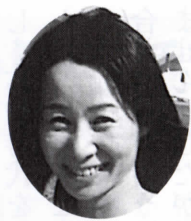


昭和38年
家政高卒
志田 征子

郷土研究クラブの思い出

遙かな記憶を辿って行く事は中々思い通りにペンが動かず迷ってしまう。半世紀も前の事。入学して間もなく部活動「郷土研究」に興味津々で入部・神社仏閣の史跡や石碑を拓本刷り由緒ある場所を見て廻った。今は亡き五十嵐文蔵先生の御指導の元で楽しい日々が思い出される。拓本刷りは墨の塗り方やバレンの力の入れ方が平均しないとズレたり、写し方が綺麗にいかず四苦八苦した。又鶴北高との共同研究で戸川安章先生とも話す機会もありまし

た。私達の研究が認められ東京の大学での表彰式にも出席した。東京へ行く事で嬉しく浮々して内容は忘れてしまった(笑)あの有名な民族学者の柳田国男先生のご自宅へ(武蔵野)文蔵先生戸川先生とご一緒にお伺いした事を判然と覚えてます。その時「海上の道」の本を頂いて来ました。柳田先生はご高齢でしたが温厚で優しい眼差しが印象的でした。「海上の道」は難しく分らず今、思えば柳田先生の若い頃の思い出がまつた本だったと感じられます。今も私の心に郷土研究という懐かしい思い出が残り史跡をみたり仏像への関心が残されております。現在は民生委員、児童委員の仕事をして地域の人々との触れ合いを大事にしております。



平成8年
家政高卒
石井 愛子

現在の私

今回この原稿を依頼されて、高校時代を振り返ってみるのも丁度よい機会と思いましたが、私の高校時代といえは、中学の時の大変な部活動の反動から帰宅部でして、授業が終われば友達と買物にいったり、飲食店で長時間居座ってしゃべっているような生活でした。帰宅部が早いときは、テレビをボーとみているというなんともありがちな高校生活を送っていたように思われます。しかし、二十年後の現在は七歳と三歳の子育て

と仕事、それに趣味でしているダンスの練習とで一日があつという間に過ぎていきます。このような、たわいもない生活の様子をずらずらと述べてしまいました。私は今のこの結構忙しい生活が一番気に入っています。この生活によって、多くの人との出会いにも恵まれ、多くの時間を自分以外の人の為に使える喜びも感じています。そしてこの先は、人との出会いに感謝し、人の役に立てるような事を行っていかれたらと思っています。



昭和41年
西高卒
小羽 博寄

昭和39年の思い出

あれはお昼時間が終わ

り(勿論早弁だったが)五時間目のチャイムが鳴る寸前と記憶しますが、突然激しい突き上げるような揺れが襲い掛かってきました。「新潟地震」です。女子の悲鳴、地鳴り音と思われるゴー音、一斉に2Fの教室から階段を下りおり昇降口から外へ。下足箱はすべて倒れ重なりその上を飛び跳ねるように外へ、外に出ると目の前の電線がバタバタ激しく揺れ今にも千切れそうで地獄絵を目の当たりにしている状況、グラウンドに全校生徒、教職員が避難、そこでも地鳴り音、激しい余震、教職員も初めての出来事で唯余震が治まるのを待つだけでした。幸いにも校舎の被害は若干あつたと思いましたが、教職員はじめ全生徒への人的被害はなく何よりでありました。五年前の東日本大震災、今年五月の熊本地震等地震が多発しております、「共助」を目的に「備えあれば憂いなし」一人一人の防災意識を高めて行ければと



昭和62年
西高卒
佐竹 俊一

我が母校

思っております。あと一つ、東京オリンピックです、半世紀振りのオリンピック開催、日本国民全員で成功させたいと願っております。

記・情報処理に悪戦苦闘。又、選択科目の書道や珠算・音楽・体育の一環、柔道では相手と組む触れ合いも絆が深まり、印象強く記憶に残っています。私は将来、家業のお寺を継ぐ為の選択肢の一つ、専門大学進学を果たす事が出来ました。あれから三十年の月日が流れ、先代住職の父も十年前に他界しましたが、親や先生方への「恩」、諸先輩や同級生の仲間、後輩との「つながり」、「支え」を糧とし忘れず、これからも精進していきたいと思えます。



平成27年
中央高卒
田澤 飛十

中央高校を卒業して

今年の春に中央高校を卒業しました。入学から卒業までの三年間はとても早く毎日の何気ない生活が懐かしく感じます。中央高校での思い出はたくさんあります。部活動、中央祭、球技大会、何気ない日々。中でも高校三年次の中央祭で、エンディングで行った全校合唱「愛を込めて花束を」は年次を越えて一つになることができ、あの感動は今も忘れることができませぬ。本当に充実し、最高の高校生活を送ることができました。

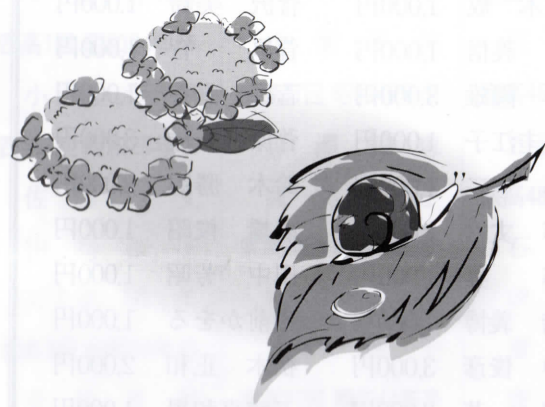


平成27年
中央高卒
三浦 将太

ありがとう中央

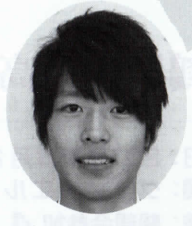
みなさんお久しぶりです。特殊な採用の関係で、今は東京ではなく自宅を警備している元副会長です。さて、卒業して思うことですが、私の高校生活は、とにかく「人」に恵まれていたと思います。常にバカ騒ぎしていたクラスの友人達や、くだらない話で盛り上がり、登下校をいつも楽

しい時間にくれた二人の親友、その他わたしと関わってくれた沢山の友人たちには、感謝してもしきれないのでしません(笑)。また、私の高校生活は新しいことに挑戦する事が多かったと思います。まさか自分が高校で生徒会に入るとは、思ってもいなかったです。夢を叶えるために今までにないくらい勉強しました。大変だったことも多かったですが、その分だけ充実感や経験など得る物がありました。ですので、在校生のみなさんには、ぜひ自分のやりたい事を見つけ、最後まで貫き通してほしいと思います。最後に、高校での思い出を胸にこれからの新生活もがんばっていききたいと思えます。



「光陰矢の如し」と言いますが、長いようで「あつ」という間の三年間でした。艱難辛苦、思い出は尽きませんが、前述の部活動他、学校祭・体育祭・修学旅行等は楽しく、専門科目の簿

山形県立鶴岡中央高等学校、生徒会長の難波飛粋です。中央高校の普通科は、大学等への進学を目標に、総合学科は専門性のある学習を活かした進路選択を目標に、日々の勉強に励んでいます。生徒会ではスローガンに「漸進」を掲げました。生徒一人一人が自分らしい新たな一歩を踏み出すことのできるよう、日々の学校生活から精進しています。他にも二天行事として、「中央祭」「球技大会」があります。中央祭は一般公開を行っており、地域の方々と交流を深めることができます。球技大会は毎年白熱した試合が繰り広げられています。今後も中央高校を更に発展、向上できるように努めていきます。御指導よろしくお願ひします。



鶴岡中央高等学校 生徒会長 難波 飛粋

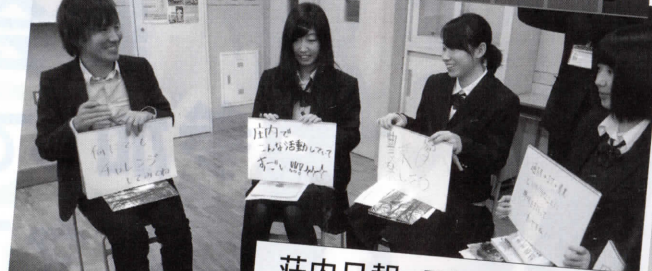
学校PR

書道部 藤沢作品を書で表現
～鶴岡中央高書道部が感性あふれた色紙～



荘内日報 平成27年11月6日掲載

地元で暮らす良さ伝える
「ショウナスタイル」かっこいい！



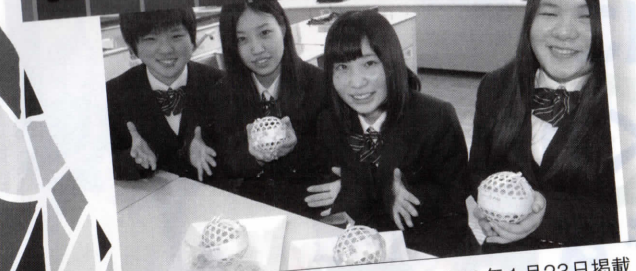
荘内日報 平成28年2月6日掲載

総合学科 社会福祉系列
手話パフォーマンスコンテストで披露



荘内日報 平成27年10月20日掲載

鶴岡中央高生徒が商品開発
キューブ型ゼリー菓子「ヤマガタ夕内箱」誕生



荘内日報 平成28年1月23日掲載

関東支部長のあいさつ



関東支部長 斉藤 仁幸

平成二十七年、黎明同窓会関東支部「同窓生のつどい」は九月十三日に会場を、これまでの市ヶ谷から日暮里へ移しての開催でした。同窓会から富樫会長、伊藤校長を始め友好同窓会の臨席も賜り、会員と合わせて七十九名の参加となりました。この日に向けて、前年より違う内容にしたいと役員一同会合を重ねてきました。「アトラクションはねていさげ喋る時間増そで」、「東京で買わいなね旨物何かがねがや」等々。いつも心配なのは、役員と会員の感覚が合っているからです。このような不安を抱えて開催当日を迎えました。「案ずるより産むが易し」「乾杯」の合図と共に、皆さん高校時代に戻ったようでした。どのテーブルも生徒時代、故郷で過ごした思い出話に花が咲いてます。言語は勿論庄内弁ですが、年代を越えて欲談し



平成27年度 一般会計決算書

自平成27年6月1日
至平成28年5月31日

【収入の部】 (単位 円)

項目	予算額	決算額	増減	備考
1 入会金	1,355,000	1,355,000	0	平成27.3卒 271名×5千円
2 年会費	491,000	470,000	△ 21,000	平成27.3卒 27.1万円 平成27年度 19.9万円
3 寄附金	100,000	143,000	43,000	
4 繰越金	510,649	510,649	0	前年度繰越金
5 雑収入	351	225	△ 126	利息
合計	2,457,000	2,478,874	21,874	

【支出の部】 (単位 円)

項目	予算額	決算額	残額	備考
1 運営費	1,287,000	1,134,150	152,850	
(1) 事務費	287,000	254,439	32,561	名簿更新・宛名出力 14万円 封筒・振込用紙代 10.2万円 その他 1.2万円
(2) 事務委託費	390,000	385,377	4,623	団費職員賃金
(3) 備品費	10,000	0	10,000	
(4) 通信費	135,000	129,094	5,906	ハガキ・切手代
(5) 会議費	300,000	204,050	95,950	総会 18万円 各種役員会等 2万円
(6) 旅費	135,000	135,000	0	関東支部出席 2.3万円×3名 3.3万円×2名 学校2名 同窓会3名 交通費(鶴岡～東京都内)2.3万円×5名 参加費1万円×2名
(7) 雑費	30,000	26,190	3,810	入会式生花 1.5万円 ゆうちょ銀行払込料金等 1万円
2 事業費	1,130,000	1,017,248	112,752	
(1) 会報発行費	800,000	733,680	66,320	印刷費 32万円 会報配送料 38万円 会報封筒詰め謝礼 3万円
(2) 卒業記念品費	175,000	124,200	50,800	卒業記念品(証書ホルダー) 平成28.3卒業生
(3) 後援会賛助金	100,000	100,000	0	
(4) 同期会開催費	20,000	30,000	△ 10,000	
(5) 慶弔費	5,000	2,368	2,632	慶弔電報等
(6) 広報費	30,000	27,000	3,000	総会案内広告費
3 基金積立金	0	0	0	
4 雑費	25,000	20,996	4,004	関東支部開催祝金等 1.5万 卒業生を祝う会費 5千5百円
5 予備費	15,000	0	15,000	
合計	2,457,000	2,172,394	284,606	

収入 2,478,874円 - 支出 2,172,394円 = 差引き残金 306,480円 次年度へ繰越

平成27年度 各特別会計決算書

自平成27年6月1日
至平成28年5月31日

1 基金積立金特別会計決算書 (単位 円)

【収入の部】

収入項目	予算額	決算額	増減	備考
1 繰越金	1,632,004	1,632,004	0	積立金残金
2 積立金	0	0	0	
3 雑収入	996	268	△ 728	預金利息等
合計	1,633,000	1,632,272	△ 728	

【支出の部】 (単位 円)

支出項目	予算額	決算額	残額	備考
1 準備事務費	0	145,800	△ 145,800	名簿データ一元管理事務
合計	0	145,800	△ 145,800	

収入 1,632,272円 - 支出 145,800円 = 差引残金 1,486,472円 次年度へ繰越記録 ※ 平成20年度 10周年記念事業協賛金 100万円の内 786,000円支出

2 環境緑化・施設整備協力金特別会計決算書

【収入の部】 (単位 円)

収入項目	予算額	決算額	増減	備考
1 繰越金	2,057,890	2,057,890	0	協力金残金
2 協力金	276,000	275,000	△ 1,000	平成28年3月の卒業生 275名×1,000円
3 寄附金	0	0	0	篤志家等寄附金
4 雑収入	110	338	228	預金利息
合計	2,334,000	2,333,228	△ 772	

【支出の部】 (単位 円)

支出項目	予算額	決算額	残額	備考
合計	0	0	0	

収入 2,333,228円 - 支出 0円 = 差引残金 2,333,228円 次年度へ繰越 ※ 協力金は平成18年3月卒業生より一人千円加入していただいております。

記録 ※ 平成20年度 サッカーグラウンド整備に100万円支出 ※ 平成22年度 学校へ絵画贈呈時の運搬費等に124,884円支出

お知らせ

黎明同窓会会報の送付について、情報伝達方法の多様性とコスト削減のため、平成二十九年発行分から左記のように変更します。

一、会報の送付者は、年会費納入者と、総会当番年次の前後三年間の卒業生となります。

二、会報の内容は、インターネットで検索して下さい。

三、年会費の納入方法

(一) 払込票は、郵便局備え付けの用紙(赤)をご利用下さい。

(二) 払込票記入上の注意

① 払込先 山形県立鶴岡中央高等学校黎明同窓会

② 口座番号 0228013182130

③ 年会費 一口 二千元

これを超える金額は、寄付金として受け入れます。

④ その他 同姓同名を判別するため、卒業高校・卒業年・クラスを記入して下さい。また、姓・住所に変更の方は、旧姓・現住所もご記入下さい。